



## 地域活性、人づくりへ

### 昌平覺とビューロー協定

東日本国際大学などを運営する学校法人昌平覺（緑川浩司理事長）は八月一日、同大で、いわき観光まちづくりビューロー（大場敏宣会長）と、「地域活性化に関する連携協定書」締結式を行った。

同協定は、いわき市の観光まちづくり発展のため、双方の資源を有効活用し、地域社会・経済の活性化や発展、それに資す

る人材育成を図ることを目的としている。

具体的な提携事業としては、市と同ビューローが令和六年度に予定している「いわき市観光まちづくりビジョン」の改定作業に、大学教職員や学生などが参加し、その意見、意見などを取り入れる。策定後も、令和十一年度の計画終了まで協力体制を維持し、適宜協定の更新を行う。

同大では、経済経営学部に見光マネジメントコースを設けており、ゼミ生が中心となつて協力。事業、研究などを共同で行い、授業カリキュラムにも反映する。

緑川理事長は、「創立二百二十周年の年に、大学としても地域連携をさらに進めていきたいと考えていたところ、お声がけいだいて、感謝したい。学生が地域に飛び込んで、大学で解決する。一緒に人づくりをやつて



学校法人昌平覺と一般社団法人いわき観光まちづくりビューローとの「地域活性化に関する包括連携協定書」締結式  
川理事長（左）と、大場会長

いきたい」と、抱負を述べた。大場会長は、「大学所属のスポーツ選手や、卒業後活躍する選手を通して、スポーツツーリズムを推進していきたい。留学生も多く、協力してインバウンド需要の拡大も行っていきたい」と、語っていた。

### 4年ぶり職業体験

#### 小学生らが研修 対処法など学ぶ

小学生が医師の診察、検査などを職業体験するプログラム「キッズ医者かしま2023」が七月二十九日、養生会かしま病院で行われた。

コロナ禍などで四年ぶり開催となつた同プログラムは、新任研修医になりきつて診察や検査を行い、医師や看護師の仕事について学ぶ取り組み。

参加した八人の小学生らは、AED（自動体外式除細動器）の使用、心臓マッサージを実演する救命訓練、聴診器などを使用した診察体験などを通して医療現場の現状、緊急時の対処方法を学んだ。

また、今回初の試みとして、同日開催となつた養生会かしま荘の「かしま福祉まつり」会場での福祉体験も企画され、白内



高齢者の身体状況などを疑似体験する小学生

障の見え方を再現するゴーグル、四肢の稼働域を制限するサポーターを着用、加齢による高齢者の身体の不自由さを疑似体験した。

参加した小学生らのほかに、同施設利用者とその家族、近隣住民などが多数訪れたまつり会場では、野菜の直売、アイス、かしま焼きの屋台が並び、参加者からは音楽ライブ、抽選会などを思い思いに楽しんでいた。

### コンカレ国家試験 合格者の表彰式

泉町、いわきコンピュータ・カレッジ（田口周二校長）は七月三十一日、「令和五年度情報処理技術者試験」合格者の表彰式を行った。

同試験は経済産業省が、情報処理技術者としての知識、技能が一定水準以上であることを認定する国家試験。

同校の二年生のうち、今年度

春期の基本情報技術者の合格者が十八人、応用情報技術者の合格者が三人。基本試験の全国合格率五六・四％に対し、同校の合格率は七七・二％。応用試験でも、令和五年度春期における、県内専門学校合格者四人のうち三人が同校学生と、優秀な成績を残している。

学生らは学習だけでなく、地域貢献、市内の情報処理技術への関心を高める活動なども行っている。高校生や小学生の親子を対象としたプログラミング教室、泉公民館や、内郷のポリテクセンターでの活動、市職員向け講座などを夏休み期間中に実施。学生と職員が協力して研さんとPRに努める。

八月中には、高校一、二年生のみ限定、女子のみ限定のオープンキャンパスを開催。十年連続就職率一〇〇％を旗頭に、広く入学希望者を募っている。



試験合格の表彰を受ける学生ら